



だっこするよ

令和元年12月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115-0053 北区赤羽台1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

自然を遊び、自然を守る人へ

園長 奥戸 昌子

紅葉がとても美しく、季節が進もうとしているのを感じます。落ち葉を踏んで歩くとサクサク音がします。自分の歩く音に振り向く1歳さん、保育者と目が合うとにつこり。小さな探検隊たちは、手作りマイバックを下げ北風もへっちゃら、自分たちの住む地球を丸ごと自分の体で確かめようとしています。主人公はいつも自分ですね。こどもと自然との関わりでいつも読み返す汐見稔幸氏の文章を紹介します。

遊びの七曜日

…僕は、子どもの頃は、できるだけ自然と戯れ、自然と対話し、自然からありとあらゆる刺激を受け、自然の中で自己充実するのが一番いいと思ってきた。だって、子どもの身体は自然そのものだし、科学も芸術も自然との格闘の産物だからだ。その原体験が自然との具体的交わりだ。でも、「今の日本に自然はどこに？」とよく言われる。そんなことはない。曜日を念頭におけばいいのだ。日、月、火、水、木、金、土。すべて私たちが自然と出会うときのシンボルだ。

「日」…太陽と出会おう。夏の影探し。冬のひなたぼっこ。夕方、朝日をじっと眺める体験。「月」…暗闇の体験。満点の星を一回は見せてあげてほしい。月の満ち欠けも月のウサギ探しも。「火」…キャンプファイアー。寒い日に囲むたき火。焼き芋。子どもたちの心が結ばれる体験。「水」…水たまり。水道遊び。池、川、海、生き物探しとセットの冒険遊び。「木」…木登り、森の散策、木でトンカン。ドングリ拾い。葉っぱ芸術。「金」…土中の金属が元意だが、種々の道具から文明へ、ということイメージすればよい。そして、「土」…砂場遊び、泥んこ遊び、粘土遊び、泥団子遊び…。「曜日」古代中国の陰陽五行説から出来ている。「世界は木火土金水の5つからできている」という五行説に、「陽と陰」という宇宙の繰り返し運動のあり方が付け加わったのが「七曜日」だ。「各曜日にその名が表す遊びを！」そうしたら、子どもたちの目の輝きがきつと違ってくる。*東京都公立保育園研究会通信の「はぐくみ」から

初めて読んだ時になるほど感動しました。私自身もこどもは土に近い生き物で直ぐに遊び始めて自然と同化する力を持っていると感じます。保育方針にも「自然と共に」と保育の柱に。それは、こども達の自然体験貯金が、やがて大人になり、自然や地球を愛して守り共生する人へと成長すると考えるからです。世界を変えるための17の目標SDGs(持続可能な開発目標)へつながっていきます。汐見氏からSDGsは世界の誰もが幸福に生きること、だれもとりにこぼさない人権尊重だと学びました。環境保護も保存もはや簡単に答えは出ませんが「どう思う?」と関心をもって一緒に考えること、誰もが行動に移さなければなりません。21世紀、こども達へ引き継ぐ地球はどうなるのか、一人の地球市民として育てていくことです。…曜日を念頭において、こども達と自然を歩き、ふれあい、遊び、気付き合いたいです。

さあ、こども達にとってクリスマスやお正月と一年で一番嬉しい季節がきます。大掃除や初詣など昔からの日本文化や生活習慣をこども達と楽しんで下さい。こどもは頼もしい協力者です。お手伝いが大好きです。ご家族と一緒に穏やかなひとときが訪れますように。今年も運営へのご協力有難うございました。新しい年もこどもたちの笑顔があふれる平和な年でありますように。写真は「火起こしからの私達のSDGs 焼き芋パーティーです。」

